

平成19年1月11日

世界遺産萩シンポジウムの開催について  
日本の近代化の世界的価値を考える

萩市では昨年11月に九州5県や山口県、関係市と共同で「九州・山口の近代化産業遺産群」を世界文化遺産国内暫定一覧表へ追加するため、文化庁に提案書を提出しました。この遺産群の中に「萩反射炉」が含まれています。

今回、これらの近代化産業遺産群の学術的・世界的価値を広く認識していただき、今後の保存活用のあり方について検討するため、国内外の第一人者を招き「世界遺産萩シンポジウム」を開催します。

記

- 1 テーマ 日本近代化の世界的価値を考える～山口・九州の近代化産業遺産群～
- 2 日時 平成19年2月3日(土)午後1時30分～5時
- 3 場所 萩市民館大ホール(山口県萩市江向495番地4)
- 4 プログラム
  - (1) 主催者挨拶(13:30～13:40)
  - (2) 来賓挨拶及び紹介(13:40～13:50)
  - (3) 山口・九州の近代化遺産の紹介(13:50～14:10)  
砂田光紀氏(「九州遺産近現代遺産編101」著者)
  - (4) 基調講演(14:10～15:10)  
ニール・コソン卿(イングリッシュ・ヘリテージ総裁)  
スチュアート・スミス氏(国際産業遺産保存委員会事務局長)
  - (5) 山口・九州近代化産業遺産視察報告(15:10～15:25)  
加藤康子氏(都市経済評論家)
  - (6) 休憩(15:25～15:35)
  - (7) パネル・ディスカッション「山口・九州の産業遺産群の世界遺産としての価値について」  
(15:35～16:45)  
コーディネーター：後藤治氏(工学院大学教授)  
パネラー：島津公保氏(株島津興業代表取締役社長)  
須田寛氏(全国産業観光推進協議会副会長)  
横川清氏(三菱重工業(株)長崎造船所史料館長)  
坂本道德氏(NPO法人軍艦島を世界遺産にする会理事長)  
永吉守氏(NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ理事)  
野村興兒萩市長
  - (8) 「日本の近代化(九州・山口の近代化産業遺産群)を世界遺産にする会」準備会発足及

び萩宣言（16：45～17：00）

- 5 入 場 料 等 無料（どなたでも参加できます。事前申込み等は必要ありません。）
- 6 主 催 世界遺産萩シンポジウム実行委員会（会長＝野村萩市長、委員＝萩商工会議所会頭、（社）萩市観光協会会長など計10人）
- 7 共 催 萩市、経済産業省中国経済産業局
- 8 後 援（調整中） 山口県、山口県教育庁、福岡県、北九州市、大牟田市、佐賀県、唐津市、長崎県、長崎市、熊本県、荒尾市、宇城市、鹿児島県、鹿児島市、大分県、宮崎県、九州地方知事会、ほか
- 9 協 力 日本航空
- 10 そ の 他 当日は記者席を用意しております。